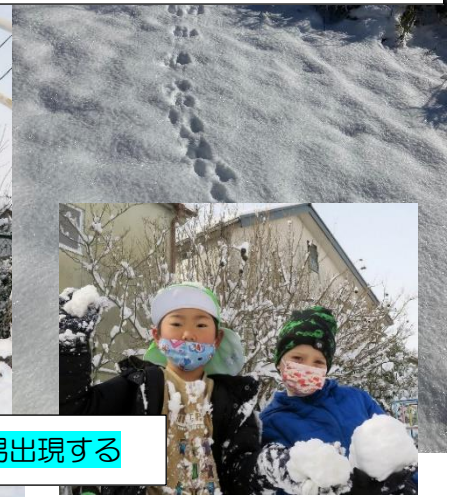


明德幼稚園で飼育されている うさぎのひみつ ?



さらに もう1羽 うららという うさぎがいます



雪男出現する



園長先生に聞きました。うさぎを飼っている目的は、世話をすることで温もりに触れ、命の大切さに気づくためです。園児が不安な時にうさぎに触れたりすると心が落ち着くことがあるそうです。野菜嫌いのうさぎの みゆくんがにじ組さんが育てたニンジンを食べると珍しく食べ始めました。「園で育てた野菜がおいしいんだね。」とみんなとても喜んだことがあったそうです。生き物を飼うことはとてもめんどろなことです。心に残るドラマが生まれます。飼いうさぎではなく野生のうさぎは、ニホンノウサギといいます。夜行性のため姿を見ることはありません。雪が降った次の日、岩倉の山に行くとうさぎの足跡が雪の野原に残っていました。岩倉にノウサギがいることが分かって良かったです。うさぎは、鳴きません。うさぎは、走ると車ぐらいのスピードがでます。うさぎのことは、知っているようで、知らないことばかりです。おすすめの本は、「ノウサギ ポプラ社」この本は、岩倉図書館にあります。雪の降った次の日、明德幼稚園にも行きました。真っ白な園庭では、雪合戦が始まっていました。金木犀の木の下ブランコに乗ってゆすると雪がどっさり落ちてきました。大根畑からそりで滑ると雪の雲梯をくぐってゆきます。先生をおどろかそうと雪男が出現。雪の日大人は少し困ります。子どもたちにとっては最高の思い出の日になります。はな組さんが、「おいしそうな たい焼き」を見せてくれました。2月になって園庭の梅の木に花が咲きだしています。(2月の園の花 梅)

明德幼稚園や公園で見つけた自然通信

2023年 2月号 岩倉自然学習ボランティア 村上 幹夫

